

原発設備の解析強化

大興、グループ会社人員増

【広島】大興（広島市中区、浜本英亮社長）は、グループ会社

【広島】働への動きが活発化する。三協機設は原子力発電設備の解析などを手がける三協機設（茨城県日立市）

の人員体制を大幅に強化する。本社と広島の各拠点で新卒や中途採用を拡大し、2027年度をめぐりに人員を現在の30人から70人へ2倍以上増員する。政府が既存の原子力発電所を最大限活用する方針を示したことで、再稼働

の動きが活発化する。三協機設は原子力発電設備の解析などを手がける三協機設（茨城県日立市）を主に行う。同社は1969年の設立で、大興が事業多角化の一環として2017年に子会社化した。

組織体制強化に向けて22年に入り広島市中区に「広島分室」を開設し、10月には本社を同じ茨城県日立市内でJR常磐線日立駅近くの

利便性が高いビルへ移転した。

人員増強に向けて、新卒の採用活動を23年度から始める。早ければ25年度、遅くとも27年度に本社の人員を50人体制、広島分室は20人体制を目指す。同社では、配管の解析業務などの受注量も現状比2倍に引き上げる意向だ。